

資料8

次世代エネルギーパーク事業 報告資料

第12回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成26年9月29日(月)

次世代エネルギーパーク事業 報告(1)

1 次世代エネルギーパークとは

自治体が企業等と連携して、新エネルギーに関する新たな取組みを見学、体験できるような施設整備を行い、経済産業省はこうした施設整備およびその運営計画の認定を行い、国民への普及広報・利用促進を図ることを目的とした国の取組み。

平成19年度から開始した取組で、全国で56件、秋田県内では能代市、男鹿市、にかほ市が昨年度に認定されているところ。

2 事業目的（資料8補足1参照）

- (1) 風力や太陽光、木質ペレット等の新エネルギーを市民にPRすることで、エネルギーおよび地球温暖化対策への理解と関心を高めてもらい、住宅用太陽光やペレットボイラー、ペレットストーブ等の普及に弾みをつける
- (2) 全国に向け、新エネルギーおよびあきたスマートシティのPRを行うことで「環境立市あきた」のブランドイメージを高め、本市の新しい文化として定着させる
- (3) 認定により、経済産業省の補助事業（熱利用加速化支援対策事業）が優先採択されるため、民間等の木質ボイラー補助事業への支援につながる

次世代エネルギーパーク事業 報告(2)

3 申請概要（平成26年9月22日に申請済み）

事業名称 あきた次世代エネルギーパーク

所在地 秋田市全域（新エネルギーに係る施設全てを対象） 資料8補足2参照

実施運営主体 あきた次世代エネルギーパーク推進協議会

※市と事業者とで組織

中心施設 総合環境センター（説明用パネル、模型等を設置）

4 対象施設（32施設、13事業者（市含む））

風力発電所 23施設（秋田港周辺、旧空港跡地、国見山等）

太陽光発電所 2施設（総合環境センター、河辺大沢）

ペレット製造工場 1施設（七曲工業団地）

ペレットボイラー 3施設（老人福祉センター、秋田県信用組合泉支店、北秋容器）

廃棄物発電施設 1施設（総合環境センター）

地中熱利用 2施設（山王中学校、美術工芸大学）

その他、GND関連施設、ペレットストーブや太陽光発電導入のモデルハウス等

次世代エネルギーパーク事業 報告(3)

5 事業内容

- (1) 市と新エネルギー設置事業者とで推進協議会を組織し、効果的なPR方法の検討や事業者相互での情報交換により、新エネルギーの更なる普及を促進させる
- (2) 施設見学のモデルコースを企画しパンフレット等で情報発信を行う
- (3) 市民向け施設見学会を実施する(年2回程度)
- (4) 電話やインターネットによる見学申込窓口の開設、案内ガイドの派遣を行う
- (5) 総合環境センター内に全体の説明パネルや模型等を設置して中心施設とする
- (6) 将来的には、マイクロ水力発電の導入や、パークレット(太陽光パネルを設置した小規模な休憩所)を市中心部に設置する事業などへの展開を目指す

6 今後の事業スケジュール

平成26年10月 認定(予定)

12月 あきた次世代エネルギーパーク推進協議会設立、総会

～3月 パンフレット、ポスター、看板等製作

平成27年6月～ 電話による受付窓口開設、見学会開催(年2回程度)